上関原発の中止を発議

発議2号

上関原子力発電所建設計画に関する意見書

提出者：豊田勲議員　他6名

本年3月11日に発生した東日本大地震と津波により福島第一原子力発電所は大事故に至った。「日本の原発は安全である」との前提で進められてきたが、福島原発事故は半径30㎞以上の範囲の住民に避難を余儀なくさせ、健康・生活・教育文化の破壊を招いている。

瀬戸内海で原発事故が発生すれば、周辺地域はもとより瀬戸内海に面する地域の住民の生命・社会・経済・文化に甚大な被害を与えることになる。これらのことから、次のことを要望する。

1　原発の安全性が確立していない現在、上関原発をはじめ、新設及び増設計画すべて中止すること。

2　福島原発事故の教訓を踏まえ、原発の新安全基準をつくり、現存の原発を総点検し危機管理を強化すること。

3　原子力行政を見直し、独立した監視機関を創設すること。

4　原発依存の電力政策を見直し、新エネルギーへ計画的に転換すること。

質疑

Q　永田　関西において、これ以外にも原発があるが。

A　豊田　この周辺には、断層が走っており地震が発生すれば、福島と同じようになり、都市機能、産業経済に多大な影響がある。上関にこだわる必要がないという意見もあった。

Q　福田豪　電力の3割は原発に依存している。一気に中止というのは、性急すぎないか。

A　豊田　新しく新設又は増設するものに限っている。現在54基の内17基しか動いてないが停電はない。原子力以外のエネルギーに転換すべき予算が必要。

皆さんからの　陳情と請願

このように決めました

■採択となったもの

◎せらひがし小学校雨水排出による被害防止に関する陳情

世羅町川尻1942-1
板橋　文夫　ほか10名

◎障害者支援制度創りの陳情

身体障害者代表
黒木　一文　ほか54名

■継続審査となったもの

◎世羅町全町農業公園化構想に伴う「せらにしタウンセンター横の圃場グランド」有効利用に係わる要望

世羅町商工会青年部　部長　高橋　久時

継続審査の意見

①施工後の維持管理費などが不明
②費用がかからない利活用方法の提案
③施設整備の詳細

以上、引き続き調査する。

タウンセンター横　圃場グラウンド視察

平成23年度議会報告会の意見

時間はいずれも19：30～

開催日	開催場所	主な意見や課題等	参加者数		
			男	女	計
5/25	せらにしタウンセンター	議会発言は、品位を重んじ要点を簡潔に。小国バイパスの完成は。公共下水道の投資効果を考えているか。ソーラー発電システムの補助金増を。	7	2	9人
	山福田自治センター	議員定数・報酬については議会から諮問案を出しては。タウンセンターの方向性は。公共下水道と合併浄化槽の格差是正を。溝熊・大仙地区の上水道接続は。	10	1	11人
	津名自治センター	高齢化率45％の集落で展望はない実態把握を。歳入歳出から人件費17％は高すぎる。行政の根幹は税にあり、税務課の廃止は慎重な判断を。イノシシの対策強化が緊急課題。	6	1	7人
5/26	大見自治センター	各委員会のテレビ放映と一般質問の重複調整を。有害鳥獣の駆除班の強化を。町内の小中学校に地元の教員採用を。防犯灯のＬＥＤ化と設置個所の検討。	9	0	9人
	津久志自治センター	今後のプール管理・監視は課題がある。高齢者にデマンドの土・日曜の運行を。廃校舎の早期利活用を。野積み堆肥の対応は。議員の質問不明で長い。	11	3	14人
	西大田自治センター	重永本線の早期着工を。廃校舎を民俗資料館に。ふれあい棟の早期利用を。青水の県道改良（陳情済み）の状況は。野積み堆肥の処分は誰がするのか。	13	2	15人
	黒川自治センター	旅行村の今後の指定管理の方向性と、小動物を飼育しているが、管理はどうか。三次市への公共交通アクセスを早急に。廃校舎の利用に文化・芸術の拠点施設を。	6	1	7人
5/27	せら文化センター	参加者が少なく同じ顔ぶれ。議員と町民の間が広いのでは。議員の定数は減に。工場の倒産があった。定住対策を重点に。議員は議決だけでなく、チェック機能の向上を。	10	0	10人
5/30	甲山自治センター	役場退職者の再就職状況は。ごみ処理事業は入札制度に。野積み堆肥は最後まで議会で監視を。人口減少にあり、議員定数の議論を。	14	1	15人
	宇津戸自治センター	議員発議・修正をしてほしい。議員の質問内容が不明である。簡単・明瞭に。宇津戸地区に上水道を。太陽光発電の有利な買い取り料金を国に要望を。	8	1	9人
	伊尾自治センター	廃校舎の利活用の早期決着と耐震工事を。合併槽利用者に助成を。過疎・人口減少で空き家対策を。廃校舎の遊具を利用しているのを見うける。危険だ。	2	0	2人
5/31	中央自治センター	産業団地の早期取り組みを。野積み堆肥の処理は。東上原中原線は。空き家の定住策は。廃屋の危険建物の処方は。下水道と合併槽料金は公平か。	13	1	14人
	東自治センター	今は定住対策が一番だ。傍聴に資料がない。生涯学習は教育委員会が所管である。ケーブルＴＶでテロップで説明を。議会中継をケーブルＴＶで見ていると恥ずかしい状況がある。	4	5	9人
合計			113	18	131人

○報告会の進め方は、議会から平素の議会活動の報告をして、その後に意見交換。

○意見の内容によっては、当日この場で答えられるものは答える。

即答できないものは、持ち帰り後日回答する。

回答は、各自治センターに送付する。

○町行政に関することは、とりまとめて町長に報告する。

意見交換会（大見会場）